

ろし」「うる」などが記されている。

SE〇一六の板塔婆は、ともに風化して文字が浮き出たもので、
(46)には上下両端に釘穴がある。

なお、今回取上げたものは既に『草戸千軒—木簡一—』で報告しているが、刊行の際には赤外線テレビカメラによる観察が終了していなかったこともあって、一部釈文を変更した。

9 関係文献

広島県教育委員会『草戸千軒町遺跡一九六九年度発掘調査概要』

(一九七〇年)

同『草戸千軒町遺跡一九七〇年度発掘調査概要』(一九七一年)

同『草戸千軒町遺跡一九七二年度発掘調査概要』(一九七三年)

広島県草戸千軒町遺跡調査研究所『草戸千軒—木簡一—』(一九八二年)

同『草戸千軒町遺跡発掘調査報告I—北部地域北半部の調査—』(一九九三年)

(下津間康夫)

木簡研究 第一四号

巻頭言

一九九一年出土の木簡

八木 充

概要 平城宮跡 平城京左京二条二坊坊間路西側溝 平城京東市跡

推定地 唐招提寺 藤原京跡 飛鳥池遺跡 四条遺跡 長岡京跡1

長岡京跡2 長岡京跡3 遠所遺跡 木津川河床遺跡 大坂城跡

住友鋼吹所跡 桑津遺跡 竜華寺跡 高槻城跡 堺環濠都市遺跡

屏風遺跡 長田神社境内遺跡 宅原遺跡 袴狭遺跡1 袴狭遺跡2

(旧坪井遺跡) 光明寺遺跡 西河原森ノ内遺跡 西河原遺跡 湯ノ

部遺跡 石川条里遺跡 内匠日向周地遺跡 小茶円遺跡 富沢遺跡

多賀城跡 円福寺遺跡 田道町遺跡C地点 上荒屋遺跡 山田郷内

遺跡 稻城遺跡 吉野口(鯉山小)遺跡 三門市遺跡 長登銅山跡

空港跡地遺跡(第3工区) 雀居遺跡 興善町遺跡

一九七七年以前出土の木簡(一四)

平城宮跡(第五〇・五一・五二・六三次) 上田部遺跡

郡家今城遺跡 郡家川西遺跡 じょうべのま遺跡 高瀬遺跡

考古資料としての古代木簡

八幡林遺跡等新潟県出土の木簡

木上と片岡

下級国司の任用と交通—二条大路木簡を手がかりに—

「敦煌漢簡」研究の現状と課題

彙報

山中 章
小林 昌二
岩本 次郎
鈴木 景二
吉村 昌之

頒価 四五〇〇円 千五〇〇円